



全国学力・学習状況調査の結果について

今年度の「全国学力・学習状況調査」は中学3年生を対象として4月15日（火）に生徒質問紙調査と理科、17日（木）に国語・数学の学力調査が実施されました。

その結果が返却されましたので、本校の傾向と課題、今後の学力向上に向けた取組等をお知らせします。

なお、学校の数値結果につきましては学校間の過度の競争や安易な序列化を招く要因となるおそれがあることから、市全体で公表しない方針となっていますことをご了承ください。

「全国学力・学習状況調査」の概要

□対 象 中学3年生

□調査内容

①教科に関する調査

（国語・数学・理科）

②学習意欲、学習方法、学習環境、生活習慣等に関する調査
（生徒質問紙調査）

1 本校の傾向と分析

(1) 学力に関する全体的傾向

- 国語については、全国平均をやや下回りました。領域では、「書くこと」の正答率はやや全国平均と比べ高かったです。「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率はやや低かったです。
- 数学については、全国平均をやや下回りました。領域では、「図形」、「関数」の正答率はやや低かったです。
- 理科については、全国平均をやや下回りました。領域では、「粒子」を柱とする領域の正答率はやや高く、「エネルギー」を柱とする領域の正答率はやや低かったです。

(2) 国語に関して

〔良好な項目〕

- ◎目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
- ◎自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。
- ◎資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。

〔課題がある項目〕

- ▲文脈に即して漢字を正しく使うことができる。
- ▲書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができる。
- ▲表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

(3) 数学に関して

〔良好な項目〕

- ◎素数の意味を理解している。
- ◎事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができる。

〔課題がある項目〕

- ▲数量を文字を用いた式で表すことができる。
- ▲統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる。

(4) 理科に関して

〔良好な項目〕

- ◎身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できる。
- ◎加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いている。

〔課題がある項目〕

- ▲電熱線で水を温める学習場面において、回線の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いている。

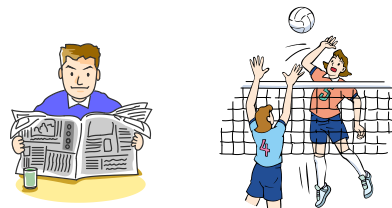
(4) 生活習慣や学習環境等に関して

〔良好と考えられる項目〕

- ◎自分には、よいところがあると思う。
- ◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ◎人が困っているときは進んで助けている。
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ◎友達関係に満足している。
- ◎PC・タブレットなどのICT 機器で文章を作成することができる。
- ◎授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

〔課題と考えられる項目〕

- ▲新聞を読んでいる。
- ▲地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。



2 本調査結果から考えられる本校の課題

本調査によって分かるものは学力の一部分ですが、結果から考えられる本校の課題は、次のようなものです。

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着すること。
- (2) 知識・技能を活用して、自分の考えを適切にまとめる力、課題解決の方法を説明する力、自分の考えを筋道立てて表現する力等を向上すること。
- (3) 自分の考えや意見をしっかりと発表できるようにすることや、他の人の考えをもとに自分の考えを広げたり深めたりすること。
- (4) 目的をもって計画的に家庭学習を進めるなど、基本的な学習習慣を定着すること。

3 課題解決のための方策(学力向上に向けた今後の取組)

(1) 個々の生徒に対する指導について

○生徒へ結果を返却する際に、自分の課題を明らかにするよう助言をしました。さらに、個々の生徒の特徴を捉えて、よさを認め、一人一人に応じた継続的な指導を行います。

(2) 学校全体としての取組について

○国語、数学、理科だけでなく、全ての教科で次の視点から授業を行います。

教科のおもしろさや学ぶ楽しさを伝える魅力ある授業

- ・「わかった!」「できた!」「もっとやってみたい!」を実感できる授業づくりに引き続き取り組みます。
- ・ICT 機器を有効に活用するとともにデジタルとアナログの良さを適切に組み合わせ、自律的に学習する生徒の育成に努めます。

「課題」と「振り返り」を明確にした授業

- ・授業の最初に「課題」を明確に示し、学習の目的や見通しをもたせます。
- ・授業の最後に「振り返り」の時間を確保し、その1時間にわかったこと、できたこと、身に付けた考え方などを振り返らせ、学習内容を確実に定着できるようにします。

課題解決の過程で、説明する活動を重視した授業

- ・課題解決に向け、考える時間や表現する時間を十分に確保した授業づくりに努めます。
- ・理由や根拠を説明させる活動を重視し、思考力・判断力・表現力を伸ばします。

学び合い活動を取り入れた授業

- ・グループ学習やペア学習を積極的に取り入れるとともに、ICTの効果的な活用により、意見や考えを交流させ、学びを深めたり広げたりできるようにします。

(3) 家庭との連携について

ご家庭と連携し、基本的な生活習慣・学習習慣の改善・定着に向けて、継続的な取組を行っていきたいと考えております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・家庭で学習できる環境を整えていただき、自主的な学習習慣が定着できるようご協力をお願いします。
- ・スマートフォン等については、親子でルールを決めていただき、節度ある利用となるようご指導ください。
- ・お子さんの最も頼りになる理解者は保護者の皆様です。引き続き、お子さんと会話をする時間を持ち、アドバイスや励ましをお願いします。